

営 農 情 報

令和元年5月7日

まもなく移植作業が始まります

○移植開始の目安は移植後5日間の平均気温で判断します。

- ・中苗は12.0℃以上、成苗は11.5℃以上が移植適気温です。
- ・美唄市の平均気象値では、5月13日に11.5℃、16日に12.0℃に達します。
- ・活着が見込まれる場合は、早めに移植しましょう。

病害虫の灌注防除について

薬 剤 名	区分	使用時期	投下水量	処理濃度	対象病害虫
スタウト顆粒水和剤	殺菌剤	播種時覆土前 ～移植当日	中苗 500ml/箱	200倍	いもち病
バズ顆粒水和剤	殺虫剤		成苗 300ml/箱	1000倍	イネシジウム イネトヨイシ フタヒコヤカ

※液肥と同時に施用すると薬害が出る可能性があります。

※防除の際は液肥施用から最低でも1日間は間隔をあけて施用しましょう。

水稻除草剤の選定について

発生雑草	初 期 剤		初 中 期 一 発 剤										
多年生雑草 オモダカ ヒルムシロ など	○ユニハーブフロアブル ・500ml/10a処理 ・田植後7日前後処理で オモダカに有効 ○ピラクロン フロアブル・ 粒剤 ・フロアブル:500ml/10a処 理 ・粒 剤:1kg/10a処理	➔	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">薬剤名</th> <th style="width: 70%;">特 徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャイロ</td> <td>→ミズアオイ・エゾサヤにも有効</td> </tr> <tr> <td>メガゼータ</td> <td>→ノビエ・ミズアオイにも有効</td> </tr> <tr> <td>バッチリ</td> <td>→ホタルイにも有効</td> </tr> <tr> <td>ヤブサメ</td> <td>→ノビエにも有効</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	特 徴	ジャイロ	→ミズアオイ・エゾサヤにも有効	メガゼータ	→ノビエ・ミズアオイにも有効	バッチリ	→ホタルイにも有効	ヤブサメ	→ノビエにも有効
薬剤名	特 徴												
ジャイロ	→ミズアオイ・エゾサヤにも有効												
メガゼータ	→ノビエ・ミズアオイにも有効												
バッチリ	→ホタルイにも有効												
ヤブサメ	→ノビエにも有効												

※「ユニハーブフロアブル」は一発剤との体系処理を実施して下さい。

抵抗成雑草 (1年生) ミズアオイ ホタルイ ヘラオモダカ など	○ユニハーブフロアブル ・田植前(代掻き～移植7日 前) ・田植直後～5日後 ○草笛フロアブル(300ml) (錠剤タイプのジャンボ剤 有)	➔	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">薬剤名</th> <th style="width: 70%;">特 徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャイロ</td> <td>→ミズアオイ・エゾサヤにも有効</td> </tr> <tr> <td>チャンス タイム</td> <td>→ノビエ・ミズアオイにも有効</td> </tr> <tr> <td>ウエス</td> <td>→ホタルイにも有効</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	特 徴	ジャイロ	→ミズアオイ・エゾサヤにも有効	チャンス タイム	→ノビエ・ミズアオイにも有効	ウエス	→ホタルイにも有効
薬剤名	特 徴										
ジャイロ	→ミズアオイ・エゾサヤにも有効										
チャンス タイム	→ノビエ・ミズアオイにも有効										
ウエス	→ホタルイにも有効										

赤さび病防除の実施について

長期間に渡り高温・多照の続くと発生が助長されます。また、本年は生育も旺盛である事から、発生が懸念されますので下葉に発生を確認した場合には、直ちに防除を実施して下さい。

○赤さび病に有効な薬剤

薬 剤 名	散布時期	使用倍率	散布水量 (10a当たり)	備 考
アミスターフロアブル	5月中旬～下旬	2000倍	100～200L	治療効果は無いので、圃場をよく観察し、早めに防除を実施する。

茎数に応じて倒伏軽減剤を施用しましょう！

本年の秋まき小麦の生育は生育は平年並の状況です。茎数が1,700本/m²を超えている圃場も散見されており、茎数に応じて倒伏軽減剤の施用を検討しましょう。
また、使用する薬剤に応じた散布適期を逃さぬよう注意しましょう。

○倒伏軽減剤について

薬 剤 名	使 用 時 期	10a当たり		判断時期と茎数の目安
		薬量・倍率	散布水量	
サイコセルPRO	出穂前20～10日 小麦の草丈40～60cm	200～300ml	100L	節間伸長盛期 (5月10日～20日頃) 草丈40～60cm頃 1,300本/m ² 以上
カルタイムフロアブル	止葉期～出穂始期	150～200ml	100L	止葉期 (5月26日～30日頃) 草丈50～60cm頃 1,200本/m ² 以上
エスレル10	止葉期～出穂始期	300～500倍	100L	穂ばらみ期～出穂期 (5月26日～6月3日頃) 草丈70cm～80cm頃 900本/m ² 以上
		75～125倍	25L	

※サイコセルは高温時の散布で薬害が生じることがありますので、夕方に散布しましょう。

※倒伏軽減剤は他の薬剤とは混用せず、重複散布にならないよう十分注意しましょう。

現在の状況について

(農協作況圃調査結果より)

○4月24日現在の「きたほなみ」の状況

地区名	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)
光珠内	2,450	17.1
豊 葦	1,980	16.2
岩 峰	2,072	13.4
光珠内 (間作)	1,286	11.5
上美唄 (間作)	1,178	13.2

本年の特徴

- ・ドリル播き圃場では全体的に過繁茂傾向
- ・生育は平年並に進んでいる。
- ・大豆間作圃場では茎数が少ない傾向であり、生育が全体的に遅れている。

大豆の播種作業について

品種名	播種時期	畦幅	株間	播種粒数	栽植本数	播種量
-----	------	----	----	------	------	-----

品種名	播種時期	(cm)	(cm)	(粒/株)	(本/10a)	(kg/10a)
ツルムスメ	5月中旬～下旬	66	15	2	20,200	9～10
トヨムスメ			18		16,800	6～7
ユキホマレ	5月中旬～ 6月上旬		15		20,200	
ユキホマレ (狭畦栽培)		33		3,000～ 4,000	12～14	

※地温が極端に低いと発芽不良や病害を受けやすくなりますので、極端な早播きは避けましょう。

○種子消毒

種子伝染性の病害やタネバエ・アブラムシ伝搬による「わい化病」を防ぐ為、必ず実施して下さい。

【主な種子消毒剤】

薬 剤 名	処理濃度	対 象 病 害 虫			
		タネバエ	アブラムシ類	苗立枯病	斑点細菌病
クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり6ml	○	○		
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり8ml	○	○	○	
粉衣用ペアカスミD	乾燥重量の0.3～0.5%	○		○	○

※クルーザー使用にあたっての注意事項

- ・播種条件：低温時や過湿条件で播種すると、出芽率の低下や出芽が遅延する恐れがあります。
- ・処理時期：播種当日又は前日
- ・播種手順：クルーザー → 乾燥後殺菌剤 → 根粒菌
(但し、ノキョライト®種子は根粒菌の接種は不要)

○播種について

- ・播種の深さは3cm程度とし、覆土は均一に行う。
- ・砕土が粗い場合や、土壌が乾燥している場合は播種後に鎮圧する。但し、土壌が過湿の場合や播種後の降雨が予想される場合は鎮圧しない。
- ・排水不良や滞水により出芽率が大きく低下してしまうので、額縁明渠・心土破碎・均平を怠らないようにしましょう。

○除草剤

農 薬 名	使用方法	使 用 時 期	10a当たり 使用量	対象雑草
エコトップP乳剤	土壌処理	播種後～出芽前	400～600ml	畑作一年生雑草
フルミオWDG	土壌処理	播種後～出芽前	5～10g	一年生広葉雑草
ロロックス	土壌処理	播種直後～出芽前	100～200g	畑作一年生雑草
パワーガイザー液剤	土壌処理兼 雑草処理	播種直後～出芽前	200～300ml	一年生広葉雑草